

沖縄県退職教職員会
 会長 仲村勝彦
 〒900-0015
 那覇市久茂地3-9-23
 教育会館内
 ☎ (098) 867-0161 (代)
 FAX 098-863-2026

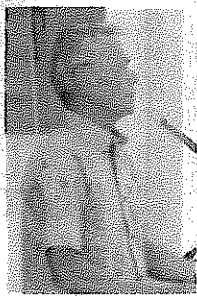
第47回
 定期総会

副会長に當間嗣朝さん

伊波洋一さんも激励に

本会の第47回定期総会並びに懇親会が7月12日に沖教組会館3階ホールで開催され、宮古、八重山支部を含む全支部から70人が参加しました。前年度の活動報告、予算・決算の承認、新年度の活動方針の確認の後、第5号議案では空席になっていた副会長の選出があり長年、島尻支部会長として支部をリードしてきた當間嗣朝さんが全会一致で選出されました。

また、辺野古新基地建設・高江ヘリパッド建設断念を求める決議も採択され、内閣総



新副会長の
 當間嗣朝さん

理大臣、防衛大臣、外務大臣、衆参両院議長あてに送付しました。

懇親会が始まる頃には去る参議院選挙の沖縄選挙区で自民党の現職大臣に10万6千票の大差で勝利したイハ洋一さんも選挙戦のお礼と激励も



総会に駆けつけてくれた伊波洋一さん

兼ねて駆けつけてくださり、本会会員の皆さんもそれぞれの地域で「必勝！イハ洋一」を合言葉に必死になって取り組んだこともあり、会場は大きな拍手と歓喜でわかえりました。

懇親会には沖教組や沖共済、学校生協からの飲み物の提供もあり、各支部からの余興を楽しく観賞しながら交流を深められました。



各支部からは楽しい余興が

辺野古 粘り強い闘い続く

勝利を信じて

闘いぬきましょう

裁判所の和解勧告を受け辺野古新基地建設の為の工事は中断していますが、シユワブゲート前では連日粘り強い阻止行動が続いています。午前9時にゲート前でのデモを行い、「沖縄を返せ」「座りこめ」の歌で氣勢をあげた後座り込みに入り米軍車両を止めます。炎天下の熱中症が心配される中での行動なので1時間ないし1時間半程度でデモに移り集会が開かれます。



座り込んで米軍車両を止める参加者

夏休み期間中ということもあって子ども連れの参加が増えています。県外、外国からの参加者もみられ闘いの広がりを感じられます。米国の地方議会でも決議案を可決する動きが広がっていて、退役軍人らでつくる平和団体「ベテランズ・フォー・ピース（VFP）」も去る13日に辺野古の新基地建設計画の中止を求める決議案と高江周辺のヘリパッド新設の中止を求める緊急決議案を全会一致で可決しています。

本会も2カ年余にわたり各支部からの積極的な参加で取り組んでいて、これまでの延べ参加者数は8,000人を超えています。高江での行動も緊迫していて両方の取り組みが必要になっていきますが、各自健康面に配慮をしながら、勝利を信じて最後まで闘いぬきましょう。

知事を支える

裁判所前集會

去る19日の、翁長知事による辺野古の埋め立て承認取り消しを巡る確認訴訟第2回口頭弁論に先立ち、午後1時から翁長知事を支える事前集會が裁判所前で開催され、約1,000人が参加、本会会員も多数が参加しました。翁長知事は、沖縄にだけ過剰な基地負担を押し付けてきたうえでの新基地建設という不条理を終わらせる決意を示しました。



知事を支える事前集會に1000人

高江 緊迫の連続

許せない

暴力的弾圧

安倍反動政権は、参議院選挙で自らが擁立した現職大臣が10万6千票の屈辱的大差で敗れた恨みを晴らすかの如く、投票翌日の7月11日午前6時すぎから高江ヘリパッド工事再開に着手しました。安倍政権は参議院選挙ではつきりと示された沖縄の民意を一顧だにせず、ゲート前で建設に反対する住民を排除し作業を強行したのです。さらに



住民を弾圧し、排除する機動隊

は、警視庁など全国から約500人の機動隊を沖縄に動員し22日には、住民に対し救急搬送車数台が出動するほどの暴力的弾圧を加え工事を強行しました。驚いたことには、防衛省は米軍女性暴行殺人事件を受けた防犯パトロール要因として沖縄に派遣された職員を辺野古、高江での「警備要員」に充てるという、まさに、「沖縄では何をやってもかまわない」との県民無視、県民蔑視の尋常ではない狂気に似た対応をしています。



7.21緊急抗議集会には1600人

政府は①県の提訴②シユワブ陸上工事③ヘリパッド工事の3計画を同時に走らせて県側への圧力を強めています。負けるわけにはいきません。そのような中、反対する抗議集会が21日午後2時からN1地区ゲート前で行われ、600人が参加しました。去る19日にも400人が参加する抗議集会がもたれました。安倍政権は住民の暴力的排除と同時に、アメとムチで県民を分断し工事を強行しようとしています。諦めずに、闘い続けていきましょう。

日退教

第7次沖縄交流 (その2)

- 10月2日(日) 午後2時～
開会行事・合同学習会
(山城博治さんを講師予定)
- 10月3日(月)
基地巡り・高江行動
交流会18時～沖教組会館

介護年金問題学習会

日時:10月26日(水)午後2時~

場所:教育福祉会館2F

098-885-9621

演題:「どうなる介護・年金」

講師:竹田邦明(日退教事務局長)

本会は左記のように高退教との共催で「介護・年金問題に関する講演学習会」を開催することになっています。会員の方から「会員本人が介護認定を受けていたり、家族に介護を要する人がいたりして、介護の件で不安を感じている会員が多くいると思われる。是非、介護に関する学習会を退職教として開催してほしい」との要望がありました。講師

には日退教の竹田事務局長を予定しています。

開催日が10月26日(水)とちよつと時間がありませんのでお忘れにならないようにメモをするなりしていただく。多くの会員の参加を待っています。

へり墜落から12年

抗議集会とデモ

沖国大へのへり墜落事件から12年目となる8月13日の午後5時から平和運動センター等が主催する抗議集会が宜野湾市役所前広場で開催され180人が参加していました。本会も中頭支部を中心に参加しました。

政府は「普天間の1日も早い危険性の除去」と辺野古推進の為の口実にしていますが、実際には有効な手立ては何もなく、むしろ、オスプレイ24機を配備し、ますます危険

性は増幅され爆音被害もひどくなるばかりです。

集会参加者は、「普天間基地の早期閉鎖・返還」「オスプレイの撤収」を求め、石平の司令部前までデモ行進をしました。



デモ行進をする
本会の会員

大阪府退教 第6回沖縄FW

85人が参加

辺野古連帯集会も

大阪府退教の第6回沖縄フイールドワークが6月22日〜24日まで開催され、85



85人が参加した大阪府退教の皆さん

人が参加しました。1号車は本会の石川元平さんが、2号車は高退教の喜友名稔さんがガイドを務めました。1日目は石原絹子さんの「私の戦争体験」の講演、海勢頭豊さんの「歌と語り」、「沖縄との夕食交流会」があり、2日目は旧海軍壕見学、「魂魄の塔」での献花、平和の礎・平和祈念資料館の巡見、3日目は辺野古での連帯集会・カンパの手交、有銘政夫さんによる「戦後沖縄で闘い続けて」と題する講演で締めくくりました。